

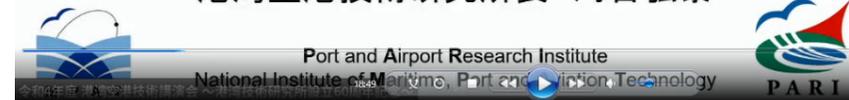
令和4年度 港湾空港技術講演会 ～港湾技術研究所設立60周年記念～

- 開催日時：令和4年10月13日（木）10時～17時
- 開催場所：ホテルアジュール竹芝 14階「天平」
(webハイブリッド方式)
- 参加者数：約350名 ※会場：約50名、web：約300名
(港研OB、国交省、民間企業（建設会社、コンサルタント等）、研究機関等)
- 講演内容

港湾空港技術研究所のこれまでとこれから



国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所長 河合弘泰



報告「港湾空港技術研究所のこれまでとこれから」
港湾空港技術研究所 河合弘泰 所長

【オンライン上での講演会の模様】

★セッション1 港空研4研究領域から報告

・特別講演「港空研・国総研の更なる飛躍を期待～研究と評価～」
東京工業大学 日下部治 名誉教授

★セッション2 港空研4研究領域から報告

★セッション3 国総研4研究部から報告

・閉会挨拶 港湾空港技術研究所 河合弘泰 所長

【概要】

- 例年実施している港湾空港技術講演会を60周年記念行事として開催。
- ご来賓の加藤技術総括審議官からは「長きにわたる現場ニーズに寄り添った実践的研究開発に敬意を表する。今後も研究成果が我が国の発展に向けて国土や地域づくりに大きく貢献することを期待」などご祝辞いただいた。
- 特別講演者の日下部先生からは、港空研不動の目標「世界に貢献する技術を目指して」に向け、昨今の研究の評価軸の変化への対応、nature index等グローバル指標の重要性などについてご講演いただいた。
- 各セッションにおいて港空研の全8研究領域、国総研の全4研究部から研究課題と今後の展望などについて報告を行った。



【講演会場の模様】

令和4年度 港湾空港技術講演会
 ～港湾技術研究所設立60周年記念～
 プログラム

開催日時：令和4年10月13日（木）10：00～17：00

開催場所：ホテルアジュール竹芝 14階「天平」（東京都港区海岸1-11-2）

講演題目：10:00～10:15 開会挨拶・来賓祝辞

- | | | |
|-------------|---|--------|
| 10:15～10:35 | 報告「港湾空港技術研究所のこれまでとこれから」
港湾空港技術研究所 所長 | 河合 弘泰 |
| 10:35～10:55 | 報告「沿岸水工研究領域の研究の課題と展望」
港湾空港技術研究所 沿岸水工研究領域長 | 鈴木 高二朗 |
| 10:55～11:15 | 報告「海洋利用研究領域の研究の課題と展望」
港湾空港技術研究所 海洋利用研究領域長 | 米山 治男 |
| 11:15～11:35 | 報告「沿岸環境研究領域の研究の課題と展望」
港湾空港技術研究所 特別研究主幹 | 中川 康之 |
| 11:35～11:55 | 報告「地盤研究領域の研究の課題と展望」
港湾空港技術研究所 地盤研究領域長 | 森川 嘉之 |
| 12:05～13:20 | （ 昼 休 憩 ） | |
| 13:20～14:10 | 特別講演「港空研・国総研の更なる飛躍を期待～研究と評価～」
東京工業大学名誉教授 日下部 治 | |
| 14:10～14:30 | 報告「地震防災研究領域の研究の課題と展望」
港湾空港技術研究所 地震防災研究領域長 | 野津 厚 |
| 14:30～14:50 | 報告「構造研究領域の研究の課題と展望」
港湾空港技術研究所 構造研究領域長 | 山路 徹 |
| 14:50～15:10 | 報告「デジタルツインのための研究の展開」
港湾空港技術研究所 インフラDX研究領域長 | 吉江 宗生 |
| 15:10～15:30 | 報告「海洋環境制御システム研究領域の研究の課題と展望」
港湾空港技術研究所 海洋環境制御システム研究領域長 | 藤田 勇 |
| 15:40～15:50 | （ 休 憩 ） | |
| 15:50～16:05 | 報告「サイバーポートの推進に係る取組」
国土技術政策総合研究所 管理調整部技術情報課長 | 三浦 健 |
| 16:05～16:20 | 報告「気候変動の最新の予測と沿岸海洋・防災研究部での適応策に関する取組」
国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部沿岸防災研究室長 | 本多 和彦 |
| 16:20～16:35 | 報告「港湾におけるICT及びBIM/CIMの導入に向けた取組」
国土技術政策総合研究所 港湾研究部港湾施工システム・保全研究室長 | 辰巳 大介 |
| 16:35～16:50 | 報告「空港における地上支援業務の自動化・省力化」
国土技術政策総合研究所 空港研究部空港計画研究室長 | 黒田 優佳 |
| 17:00～ | 閉会挨拶 | |

※ 講演者の都合等により、プログラム等を変更する場合があります。